鴨川シーワールドの集い

昨年の12月22日、成田市成田信徒会館に於て、成田市教育委員会、成田市子供会連合会の後援による「鴨川シーワールドの集い」を開催いたしました。丁度日曜日でもありましたので、市内の小、中学生が、約1000名も参集して熱心に、映画を観賞したり、お話しを聞いたりした後、約2時間、いろいろ動物に関する質疑応答がおこなわれ、期待した以上に盛大な集いとなりました。

13時からの開場でしたが、子供達は12時頃からぞくぞくと集まり、記念バッチ等をうけとり、うれしそうに、いまがおそしと待っていました。先づ12時より「イルカは海の優等生」「海獣シャチとあそぼう」の2本の映画が上映されました。いずれも鴨川シーワールドのイルカ、シャチ等の映画で、イルカについては、頭の良さや、今後の海洋開発への活用等で、シャチについては、海の王者で「ドウモウ」な動物であるシャチもイルカ以上に頭も良く、飼育の方法によっては非常に従順な、おとなしい動物で、我々の良き友達になる、といった内容のものでした。この映画を上映したことにより、海洋開発に対するイルカの重要性等について強い関心をもったお手紙をいただき多くの人達に動物に関しての関心をもっていただけたことは、私達動物を扱っている者にとって、この会を催したことは非常に有意義であったと思いました。今後もこの様な会を数多く催し、一人でも多く参加していただき、海の動物のみならず陸の動物についても焦点をあわせながら、皆さんと一緒に勉強をしていきたいと願っております。

シーワールドわらべ正月

シーワールドでは元日から五日間、スカイタワー下苑地において「鴨川シーワールドわらべ正月」と題し、昔よく遊んだ竹馬、こままわし、まりつき、ガッパ、ジャンボ将棋、ジャンボ福笑いそして今年の干支うさぎのはなし飼い等の催しを行いましたが、ご来園のお客様に非常に喜ばれ中でも人気ナンバーワンは「うさぎのはなし飼い」でした。うさぎに餌をやる子供達、記念写真に興ずる家族連れ等で連日人気を集めておりましたが子供達に追いかけられどうしのうさぎ君、ついに四日目にはダウンしてしまうというアクシデントまで出る始末、がそこはうさぎ君今年は私の年よとばかり頑張り続け、お客様に愛嬌を振りまいておりました。

また、竹馬会場には大小合せて60組の竹馬を用意しましたが、会場狭しと乗り廻す人、1、2歩、歩いては倒れてしまう人、子供に乗り方をコーチしているお父さん、昔取った杵柄と言わんばかりに模範を見せている中年グループ、一生懸命に練習に励む2人連れ等で連日賑わっておりました。全般に見て昔子供であった中年の人は上手に乗っていましたが、現代の子供達は余り上手に乗ることができないように見受けられました。

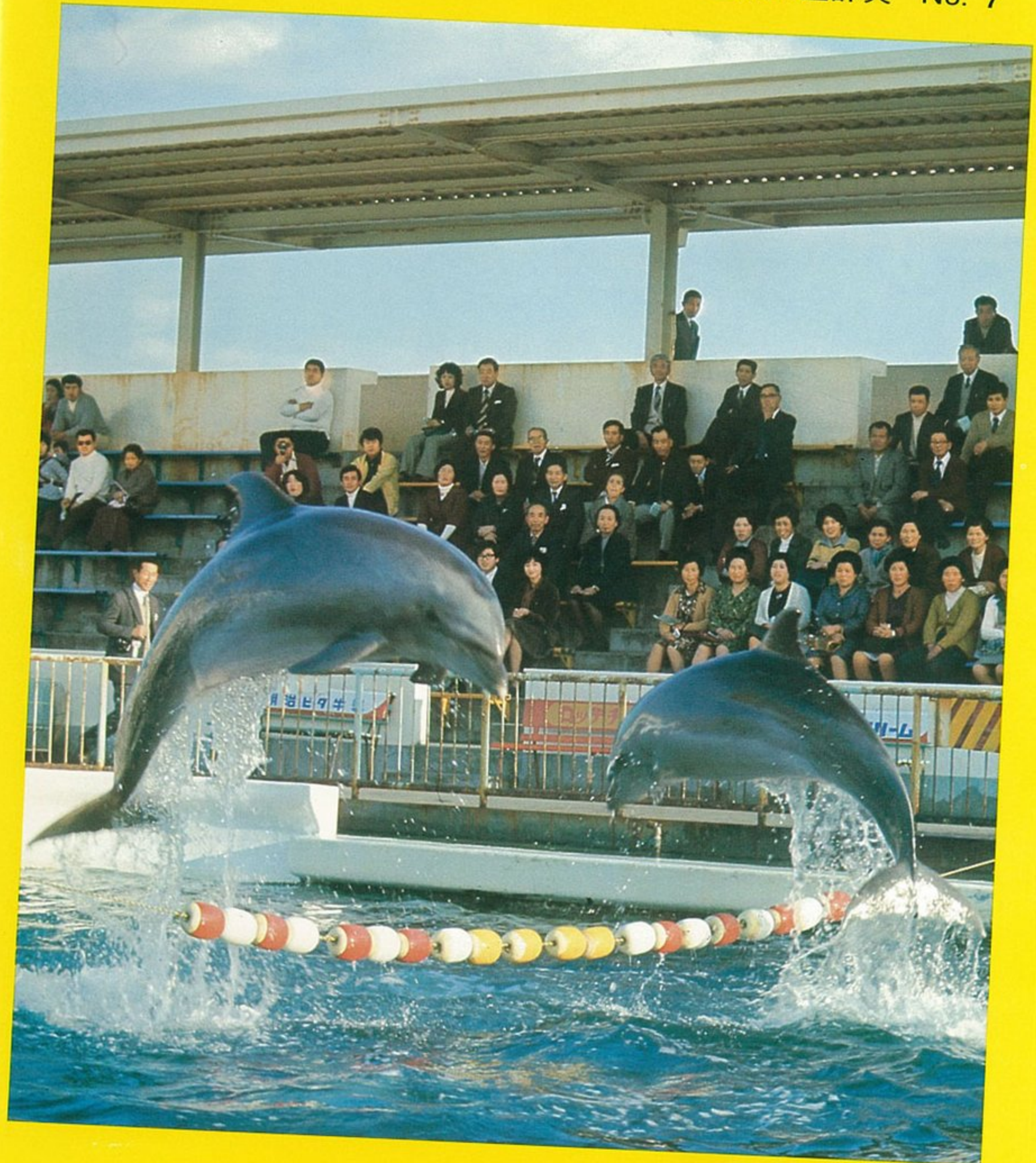
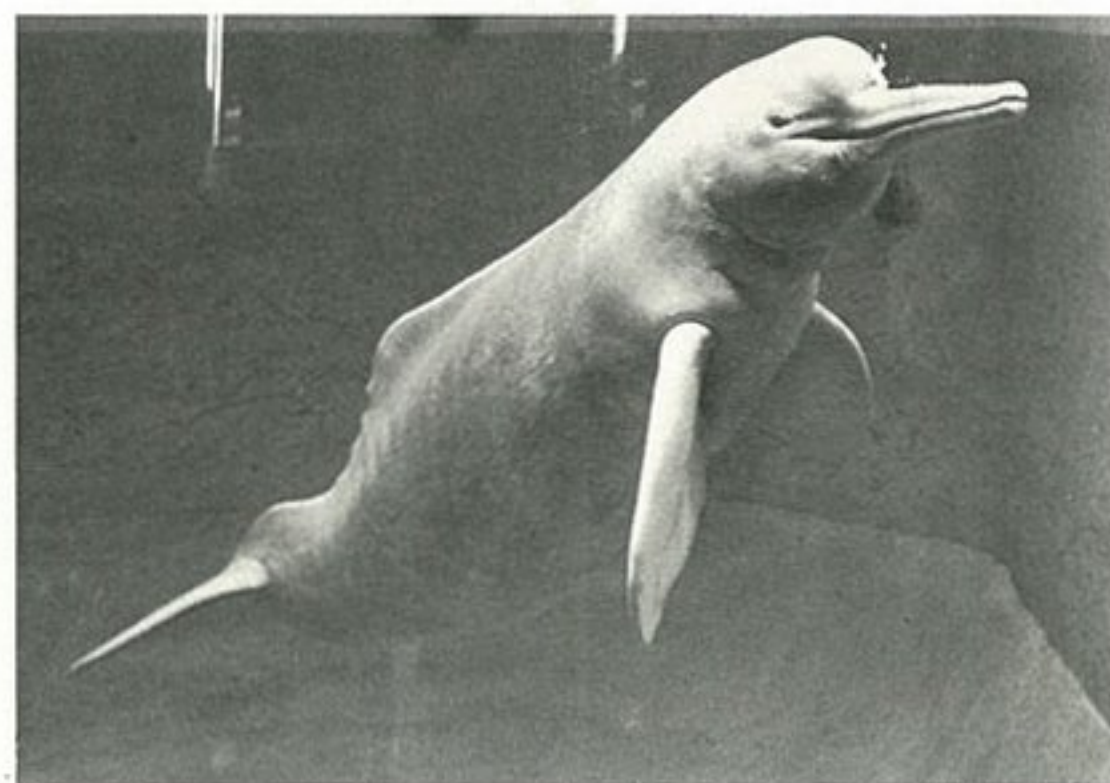
楽しいわらべ正月のスナップ

なにはともあれ何時の世でも変らないのが「子供は風の子」お父さん、お母さん方が寒さに震えているのに比べ、うさぎ君から竹馬へ、竹馬から福笑いへと寒さを忘れて遊んでいる光景が印象的でした。

それというのも今の子供達の遊びがプラモデルのように買ってきて室内で遊ぶものが多く、自分達で作って遊ぶということをしないからではないでしょうか。

南房総国定公園
鴨川シーワールド
千葉県鴨川市東町1464—18　TEL 04709(2)2121

さかまた

生物の豆辞典　No. 7

アマゾンカワイルカ

カマイルカ

◎イルカとは……

地球上で初めて生命が誕生したのは、海からといわれています。そして、長い時代が過ぎた或る時代には、見上げるばかりの巨体をした爬虫類が、地球上のいたるところで生活していました。しかし、巨体であるがゆえに、生きてゆくためには多くの餌を喰べていかなければなりませんので、そのうちに喰べる餌がだんだんと少くなり、一部の動物は、今まで喰べていた木の芽や葉のような植物から、川の中の魚のような動物を喰べるようになりました。川から餌をとるようになった動物は、川を下り海へ出て、餌の豊富な広い海で生活をするようになり、それ以来現在に至るまで海の環境に適応し生活を続けてきました。これらの動物が世界最大の動物といわれているシロナガスクジラやマッコウクジラのような大型鯨類と鯨の仲間のイルカ類であるといわれています。

このイルカについては、外国においては、ギリシャ神話から始まり、現代のニュージーランドのペラロス、ジャックの話にいたるまで、数多くの逸話が残されていて、しかも、逸話の全てが人間を助けてくれた話とか、人間と友達になった話等で、昔から人間とイルカとは、敵対関係にあったのではなく、常に人間の良き味方として知られてきました。しかし、海に囲まれ水産国として世界に知られている日本においては、色々調べてみても、外国のような話は、見つけることが出来ず、イルカについての逸話さえ探し出すことが出来ないのは、残念なことです。

このように昔から人間の良き味方として親しまれてきたイルカは、海に生活する魚なのでしょうか？それとも我々人間と同じ哺乳動物なのでしょうか？水族館を訪れた多くの人々の大部分が、イルカという言葉やイルカの姿を知っていても、「このお魚は頭がいいんですね」とか「このお魚はプールに落ちたら噛みつきますか？」等と話をしているのを聞くことがしばしばあり、イルカを魚の仲間と思いこんでいる人達が多いようです。確かに外形は、背ビレ、尾ビレ、胸ビレ等があり魚と大変良く似た形をしていて、魚と同じ海の中で生活しているのですから間違えやすいのも、もっともな事だと思います。しかし、イルカは魚とは異なり、呼吸をするのに水の中から酸素をとるのではなく、我々人間と同じように空気中から酸素をとっていますし（肺呼吸）、仔イルカは、卵で生まれてくるのではなく、母イルカのお腹の中で12ヵ月をすごし、生まれるとすぐに泳ぎ出し、そして母イルカからお乳をもらって成長していく（授乳）等、幾つかの哺乳動物としての特徴をもっていて、形こそ魚と似ていますが、陸上とはまったく異なった海洋の環境に長い年月の結果、完全に適応して生活出来るようになった海で生活する哺乳動物の鯨の仲間なのです。

では、鯨とイルカとはどのように違うのでしょうか？、そもそも、学問的には鯨とイルカを分けて呼ぶことはしません。イルカという言葉は、鯨の仲間の中の体長5ｍ以下の歯を持った小型の鯨のことを表現するため一般に使われている呼称なのです。この一般にイルカと呼ばれる動物は、現在、南米のアマゾン河、中国の揚子江、インドのガンジス河の大きな河川に生活する種類（カワイルカ科）と海と川の両方で生活している種類（カワゴンドウ科、ソタリヤ）および、海でのみ生活をしている種類（大部分のイルカ類）があり、世界中で約70種類が知られています。海でのみ生活している種類については、世界中の海を泳ぎまわっているのではなく、北極や北洋のような寒い海にのみ生活している種類や赤道直下の暖い海にのみ生活している種類があるように、種類によって生活をしている海域が別れています。又、同じ種類でも季節によって冬は南に、夏は北へと生活の場所を変え、最も生活しやすい海域へ移動していることも知られています。

以上のように、広い海洋で生活を続けているイルカと呼ばれている動物については、今までに多くの研究者によって調べられてきたとはいえ、まだまだ知られざる部分を多く持っている動物の一つであるということが出来ます。

そこで、本号から、このイルカについて今迄に知られている事柄をまとめながら紹介してみることとしました。（鳥羽山記）

シーワールドのアニマル達

◎アシカ科の動物《トド》………

アシカ科はアザラシ類と同じく鰭脚類で、6属12種あります。体つき、生活、行動等はアザラシ類と大変異なっていますが、特にその強い四脚が特徴です。後肢は前方に折れ曲り前肢と共に陸上での歩行に役立ち、また水中では前肢をオールのように動かして泳ぎ、アシカの場合には最高時速40kmと云われています。このようなアシカ科の動物を当館では4種13頭飼育しておりますが、今回はそのうちトドをご紹介しましょう。トドはアシカ科の中では最大で、成長すると体重が1t近くにもなり、また我国では主に北海道沿岸に生息しており、大食漢故に漁業に大きな損害を与えることでも有名です。現在飼育中の2頭は体重が約400kg、年令は5～6才で、青年期といった所ですが、彼等（両方共雄）のダイナミックな飛び込み等の芸、あるいは体に似合わぬ愛くるしい目つき、動作はなかなかの人気です。トドの飼育は、捕獲等の問題から、外国には殆んど例がなく、我国動物園水族館での自慢の海獣の一つといえるでしょう。

（大島記）

トド

スルメイカ

トピックス

◎イカはイカガですか？………

一口にイカといっても胴長が6ｍもあるダイオウイカの一種から1.8cmのヒメイカまで、450種もの大小様々なイカ類が世界の海に生息し、日本近海だけでもこれまでに90種余りのイカ類が報告されています。イカは魚と違って飼育が非常にむずかしく、水族館でもめったに見ることができない動物です。『生きているイカの美しい姿を、一人でも多くの人に見せてあげたい』そんな思いでイカの飼育を始めました。何の障害物もない太平洋を、自由きままに泳ぎまわっていたヤリイカやスルメイカにとって、水族館の水槽はあまりにも狭かったのでしょう。最初はガラス面に激突して、わずか数日で死んでしまいました。その後、イカ類の目の良さを利用してガラス面に網目模様をつけてみました。見事成功！それ以後、激突することが急に少なくなり、40日間ぐらい飼育ができるようになりました。1973年11月以来、当館にはスルメイカやヤリイカが元気よく泳いでいます。コンピューターのプリント配線のような神経系統がすき通って見えジェット推進で動き回るイカ、一風変ったイカの泳ぎ方をじっくりごらん下さい。

（祖一 記）

表　紙　説　明

仲良しなイルカ達

イルカの仲間は、海で生活している時、お母さんイルカを中心にして群をつくり、まるで私達人間社会にみられる家族のように、皆んな仲良く暮しています。そのため、プールで学習がなされ、ショーをおこなう時にも仲良く一緒に同じ動作をおこなうことができます。